

新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

弊連盟では上記の大会において、公益財団法人日本陸上競技連盟の「ロードレース開催についてのガイドンス」(2022年10月17日改訂)を参考に、下記の内容を作成しています。また、開催地の大阪府より開催の許可を得て開催いたします。安全、安心な大会運営を目指しますので遵守をお願いします。

【第3回全国招待大学対校男女混合駅伝競走大会開催の前提条件】

1. 大阪府からイベントの開催が認められている。
2. 大阪府において、新型コロナウイルス感染症に関する診療体制が整っていて、もし会場で発熱者が出た場合に、すぐに診察を依頼して受け入れてもらえる体制が整っている。

I 第3回全国招待大学対校男女混合駅伝競走大会開催にあたっての基本事項

1. 感染症対策

- ・ こまめな手洗いを推奨し、多くの人が頻繁に触れる箇所は清掃・消毒し、環境を清潔に保つ。
- ・ 適切なマスク（不織布マスクを推奨）の正しい着用の周知・徹底をする。
- ・ イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保。
- ・ 本大会に関わる全ての人の体調管理を徹底する。

2. 危機管理体制の設置

- ・ 感染症予防対策の策定、意思決定を行う「新型コロナウイルス感染症予防対策室」(以下、対策室)を設置する。
- ・ 対策室は主催者である関西学生陸上競技連盟、関西テレビ、産経新聞社、また、運営協力の大阪陸協理事が委員を担う。
- ・ 大会関係者が発熱、風邪の症状がある場合、感染症予防の観点から必ず速やかに各委員に報告する。

II 第3回全国招待大学対校男女混合駅伝競走大会開催にあたっての配慮事項

1. 感染防止対策の基本

(1) 3密を回避（密閉・密集・密接）

- ① 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）の対策
- ② 密集場所（多くの人が密集している）の対策
- ③ 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離で会話や発声が行われる）の対策

(2) 競技者及び大学関係者に対し実施すること

- ① 競技会1週間前からの体調管理終了後2週間の体調管理・検温を義務付ける。
- ② 大学代表者は、入場者全員の体調を確認した証明として「確認書」を、競技開始時刻【10時30分】までに受付へ提出する。なお、当日、「確認書」を提出しない大学の競技会出場を認めない。

*「確認書」：本大会へ参加する大学関係者すべての体調を確認した旨を証明する書類。

提出が遅れる場合、事前に理由と共に弊連盟まで連絡すること。

- ③ 体調が不確かな競技者がいた場合は、医師の指示状況により参加を許可しない。
- ④ 競技中を除きマスクの着用を義務とし、マスクをしていない人に対し注意を促す。
- ⑤ 運動中につばや痰を吐くことは絶対行わない。

(3) 競技役員及び、自主整理員に対し実施すること

安全、安心な大会として活動を行うために、発熱(37度以上)や風邪の症状がある場合、前日または当日の集合時間までに関西学連に連絡をし、欠席を伝える等、主催者が行う感染症予防対策に同意した行動をとる。

(4) 観客 (OB、OG、選手の親族等) について

◆ 今大会は有観客とする。詳細は「観客の皆様へ」を参照すること。

2. 競技についての配慮事項

(1) 競技運営の配慮事項

- ① 競技開始前 (招集～スタート・中継所での待機)
招集所では競技者同士の対人距離を確保し、手続きを簡略に行う。
- ② 競技中・フィニッシュ後に倒れた競技者は、防護体制 (マスク、フェイスシールドなど) を整えたスタッフで対応する。
- ③ 会場内では、新型コロナウイルス感染症対策を電光掲示板やアナウンスを通して積極的に周知する。
- ④ 競技役員の打ち合わせについては、可能な限り書面やメールにて行い、事前及び当日に行う打ち合わせは、簡潔に済ませるように努める。

3. 施設における配慮事項

(1) 施設入場時の配慮事項

- ① 入退場口での手指の消毒液を準備する
- ② 対人距離確保の呼びかけ。
- ③ 確認書の提出を義務づける。

(2) 施設利用上の配慮事項

- ① 常時換気の実施 (窓開け・戸開けの実施) ※換気できない場所は利用しない。
- ② 諸室・招集所などの座席配置および直接の接触回避を工夫する。
- ③ 拡声器・通信機器を多用する。
- ④ 多くの者が接触する可能性がある箇所の清掃 (消毒) 頻度を増やす。
- ⑤ 雨天時の待避場所の確保・終了後、施設・設備・用器具の清掃・消毒を行う。
- ⑥ トイレ (便座、ドアノブ、水洗トイレのレバー等) を清潔に保つ。
- ⑦ 更衣室は一度に多人数が使用しないように、張り紙または監督者を置き、滞在時間は短時間となるように指導する。
なお、シャワールームの使用は禁止する。

4. メディア・取材への配慮事項

(1) 報道関係者への依頼

- ① 会場内では手洗いや咳エチケットなどの実施を心がけ、取材時はマスクを着用する。
- ② 取材の申請については、関西学連HPに事前に申請方法をあげ通知する。

5. 競技会終了後の対応事項（以下の体制を整え競技会開催に臨む）

（1）施設所有者・管理者への確認事項

- ① 競技終了後全ての箇所(机、いす、ドアノブ、パソコン、トイレ、スターティングブロック・投擲物・バトンなど)を消毒する。

（2）参加者への周知事項と対応事項

- ① 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、大阪府衛生部局並びに大阪市とあらかじめ検討しておく。
- ② 参加者は新型コロナウイルス感染症を疑うような何らかの症状が出現した場合は、必ず最寄りの居住地自治体の衛生部局に報告し、関西学連に報告する。
- ③ 競技会終了後、2週間以内に新型コロナウイルス感染症と診断された場合は関西学連に報告する。
- ④ 感染症のまん延を防止し、感染症による健康リスクが個人や社会に与える影響を最小限にするために、感染症の発生状況等に関する情報を積極的に公表する必要がある。なお、当該情報の公表に当たっては、感染者等に対して不当な差別及び偏見が生じないように、個人情報の保護に留意する。

関西学生陸上競技連盟